

研究課題および研究組織

昭和57年度 厚生省心身障害研究における本研究班の構成

【研究課題】 妊婦管理の改善による胎児障害防止に関する研究

【研究組織】

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| • 主任研究者 (班長) | 鈴木 雅 洲 (東北大・医・産婦・教授) |
| • 分担研究者 (幹事・分科会長) | 鈴木 雅 洲 (東北大・医・産婦・教授) |
| | 蜂 屋 祥 一 (慈恵医大・産婦・教授) |
| | 倉 智 敬 一 (大阪大・医・産婦・教授) |
| | 沼 崎 義 夫 (国立仙台病院・ウイルス・部長) |
| | 飯 塚 理 八 (慶応大・医・産婦・教授) |
| • 評価委員 | 松 本 清 一 (自治医大・産婦・教授) |
| | 沢 崎 千 秋 (日本大・医・名誉教授) |
| | 森 山 豊 (日本母性保護医協会・会長) |
| • 経理事務担当責任者 (班) | 矢 嶋 聡 (東北大・医・産婦・助教授) |
| (分科会) | 古 橋 信 晃 (東北大・医・産婦・講師) |
| | 佐 藤 信 二 (東北大・医・産婦・助手) |
| | 山 内 隆 治 (東北大・医・産婦・助手) |
| | 久 慈 直 志 (慈恵医大・産婦・助教授) |
| | 青 野 敏 博 (大阪大・医・産婦・講師) |
| | 田 中 明 (国立仙台病院・ウイルス・医員) |
| | 牧 野 恒 久 (慶応大・医・産婦・講師) |

「妊婦管理の改善による胎児障害防止に関する研究」

1. 現代生活・現代社会構造・現代医療内容の妊娠・分娩・胎児に与える影響

- | | | |
|-------------|------|-----------------------|
| | 分科会長 | 鈴木 雅 洲 (東北大・産婦・教授) |
| ① 現代生活・肥満 | 班 員 | 岡 田 弘 二 (京府医大・産婦・教授) |
| ② 〃 ・核家族 | 〃 | 水 野 正 彦 (東京大・産婦・教授) |
| ③ 〃 ・勤労婦人 | 〃 | 一 戸 喜 兵 衛 (北大・産婦・教授) |
| ④ 〃 ・旅行 | 〃 | 藤 原 篤 (広島大・産婦・教授) |
| ⑤ 〃 ・カフェイン | 〃 | 劉 雪 美 (東北大・産婦・医員) |
| ⑥ 〃 ・冷房 | 〃 | 友 田 豊 (名古屋大・産婦・教授) |
| ⑦ 〃 ・交通機関利用 | 〃 | 加 藤 俊 (久留米大・産婦・教授) |
| ⑧ 〃 ・ビル居住 | 〃 | 野 田 起 一 郎 (近畿大・産婦・教授) |

(但し①～⑧は合同調査)

⑨ 妊産婦輸血・新生児交換輸血の影響

① 妊産婦輸血の母子に与える影響

班 員 遠 山 博 (東京大・輸血部・助教授)

② 交換輸血・輸血を受けた児の長期予後

班 員 村 田 文 也 (都立築地産院・院長)

協力者 竹 内 徹 (大阪母子保健医療センター・副院長)

⑩ 妊娠期の栄養の実態と保健指導

班 員 森 一 郎 (鹿児島大・産婦・教授)

協力者 荒 木 勤 (日本医大・産婦・教授)

〃 西 村 和 彦 (愛染橋病院・小児・医長)

⑪ 幼若乳児にみられるビタミンK欠乏性出血性素因に関する研究

班 員 中 山 健 太 郎 (東邦大・小児・教授)

協力者 長 尾 大 (神奈川こども医療センター・部長)

〃 白 幡 聡 (産業医大・小児・助教授)

〃 吉 岡 慶 一 郎 (国立大阪病院・小児・医長)

〃 辻 芳 郎 (長崎大・小児・教授)

〃 鈴 木 重 統 (北海道大・産婦・講師)

〃 池 田 稲 穂 (静岡赤十字病院・小児・部長)

〃 真 木 正 博 (秋田大・産婦・教授)

〃 駒 沢 勝 (国立岡山病院・小児・医長)

⑫ 妊娠週数ならびに出生体重からみた早期新生児死亡率・新生児死亡率・乳児死亡率ならびにその対策に関する研究

班 員 鈴 木 雅 洲 (東北大・産婦・教授)

協力者 小 林 昇 (国立水戸病院・産婦・医長)

〃 森 滋 (日赤仙台病院・産婦・部長)

〃 阿 部 洋 一 (酒田市立病院・産婦・科長)

⑬ 21世紀において予測される家庭像と、それに影響を与えると考えられる諸要因についての研究

班 員 水 野 正 彦 (東京大・産婦・教授)

⑭ 思春期保健衛生

① 思春期医学ならびに保健のカバーすべき領域の設定に関する研究

班 員 玉 田 太 郎 (自治医大・産婦・教授)

協力者 河 上 征 治 (慶応大・産婦・講師)

〃 岡 堂 哲 雄 (文教大・人間科学・教授)

〃 秋 山 泰 子 (慶応大・小児・講師)

〃 山 下 文 雄 (久留米大・小児・教授)

〃 日 暮 眞 (山梨医大・保健学・教授)

〃 林 謙 治 (国立公衆衛生院・主任研究官)

〃 佐 藤 ち 江 (群馬県衛生環境部・予防課長)

〃 田 村 健 二 (東洋大・社会学・教授)

協力者 松本 清一 (自治医大・産婦・教授)
〃 横田 暉 (国立大蔵病院・院長)

⑥ 10代婦人の妊娠

班員 玉田 太朗 (自治医大・産婦・教授)
協力者 石浜 淳美 (小山市民病院・院長)

2. 我が国における妊娠の実態調査と保健指導

分科会長 蜂屋 祥一 (慈恵医大・産婦・教授)

① 後期妊娠中毒症

班員 福田 透 (信州大・産婦・教授)
〃 関場 香 (岡山大・産婦・教授)
協力者 古橋 信晃 (東北大・産婦・講師)

② 妊婦の代謝異常

① 先天代謝異常の妊婦

班員 北川 照男 (日本大・小児・教授)
協力者 大浦 敏明 (大阪市立小児保健センター・所長)
〃 多田 啓也 (東北大・小児・教授)
〃 村田 光範 (東京女子医大・小児・助教授)

② 妊婦の糖代謝異常

班員 蜂屋 祥一 (慈恵医大・産婦・教授)
協力者 杉山 陽一 (三重大・産婦・教授)
〃 八神 喜昭 (名古屋市立大・産婦・教授)
〃 浜田 悌二 (久留米大・産婦・助教授)
〃 高木 繁夫 (日本大・産婦・教授)

3. 多胎妊娠

分科会長 倉智 敬一 (大阪大・産婦・教授)

① 多胎妊娠の疫学的研究 (ことに胎児・新生児・乳児予後および誘発排卵多胎妊娠の減少対策)

班員 倉智 敬一 (大阪大・産婦・教授)
協力者 木下 勝之 (東京大・産婦・講師)
班員 五十嵐 正雄 (群馬大・産婦・教授)
協力者 仲野 良介 (和歌山医大・産婦・教授)
班員 斉藤 幹 (東京医歯大・産婦・教授)
協力者 山辺 徹 (長崎大・産婦・教授)

② 多胎児の発育・成長に関する研究

班員 馬場 一雄 (日本大・小児・教授)
協力者 外西 寿彦 (鹿児島市立病院・副院長)
〃 鈴木 祥井 (神奈川歯科大・教授)
〃 渡辺 文夫 (日本大・口腔外・教授)

協力者 藤井 裕 (日本大・小児・講師)
　　　　赤松 洋 (日赤医療センター・未熟・部長)
　　　　倉智 敬一 (大阪大・産婦・教授)

4. 母体感染症の胎児に与える影響とその対策、および臨床検査法の開発

分科会長 沼崎 義夫 (国立仙台病院・ウイルス・部長)

① ヘルペスウイルス

班員 吉野 亀三郎 (山梨県立衛生公害研究所・所長)
協力者 川名 尚 (東京大・産婦・助教授)

② サイトメガロウイルス

班員 沼崎 義夫 (国立仙台病院・ウイルス・部長)
協力者 中尾 亨 (札幌医大・小児・教授)

③ トキンプラズマ

班員 松本 慶蔵 (長崎大・熱研内・教授)
協力者 亀井 喜世子 (帝京大・寄生虫・講師)

5. 不妊症治療に関する諸問題

分科会長 飯塚 理八 (慶応大・産婦・教授)

① 異常卵管の形成術に関する研究

班員 飯塚 理八 (慶応大・産婦・教授)
協力者 星合 晃 (東北大・産婦・講師)

② 人精子に関する研究

班員 和久 正良 (帝京大・泌尿器・教授)
協力者 星 和彦 (仙台社会保険病院・産婦・科長)

③ 生殖細胞の抗原性に関する研究

班員 森 崇英 (徳島大・産婦・教授)

④ 人工授精、および不妊高年令婦人治療後の妊娠と出生児の研究

班員 大野 虎之進 (東京歯科大・産婦・教授)
協力者 山口 禎章 (太田総合病院・産婦・部長)